

鏡川流域パートナーシップだより No.142 R6.5.28



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

「おやつ神社」を高知大学地域協働学部生がレポート♪

5月25日(土)・26日(日)に、山内神社の境内周辺で「おやつ神社」のイベントが開催されました！

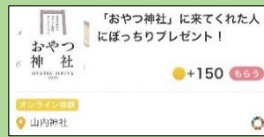
山内神社の森は、鏡川清流保全条例に基づく「自然環境保全区域」に指定されており、鏡川沿いの自然豊かな景観を楽しむことができます。また、まちのコイン「ぼっちり」のスポットにも登録されています。



コメントが届いています♪

「事前準備に参加しました！当日より良いイベントになるよう祈ってます！」

「美味しい食べ物とお菓子がたくさんで楽しいです」



「自然環境保全区域」の看板には「ぼっちり」の体験チケットやスタンプラリーに参加できるQRコードがあり、多くの方にご利用いただきました！

高知市内・外から、美味しいお菓子やおしゃれな雑貨などを販売するお店が並び、多くのお客さんで賑わっていました！



「おやつ神社」に、スタッフとしてもお客さんとしても参加した高知大学地域協働学部1回生の**有辺平**さんから、**写真とコメント**をいただきました！

有辺さんは、5月8日に市職員が講師として参加した「課題探求セミナー『地域を知る』」で「ぼっちり」をインストールして以降、**全ユーザーの中で最も「ぼっちり」を利用して**おり、関係人口創出の取組にも興味を持ってくれています。



今年4月に、進学で大阪から高知県に来ました。初めての地で、スタッフとして大きなイベントに関わる初めての機会が「おやつ神社」でした。

当日は受付の段階で行列ができるほどで、かなり盛り上がっていたという印象を受けました。



イベントスタッフとしての参加は、とても充実した経験になりました。

より多くの人たちが山内神社をはじめ、鏡川流域にある素晴らしい自然や景観に興味を持ってもらえるきっかけ作りに携われたのかな、と思います。



また、今回の活動を通して、人々が積極的に鏡川に関わりを持つにはどうしたら良いのかを具体的に考えたいと、より強く思いました。鏡川を知っている人たちが、「鏡川の名に相応しい」と胸を張れるような綺麗な鏡川の姿をこれからも留めていきたいです。



「有辺さんから「鏡川で撮った夜景の写真もぜひ掲載していただけたら嬉しいです！」とおすすめされた1枚。この素敵な景観を将来につないでいけるよう、これからも多様な人との多様な関わりを大切に、連携していきたいです！」



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつながる山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android